

授業科目

生活援助技術III

担当教員名 近藤 トシコ	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	◎

授業の概要

尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する。

授業の目的

さまざまな生活場面における介護の実践力を身につけて、その介護の方法や根拠を言語化し、説明することができる。

学習目標

- 1 生活支援の視点から介護を考え、実践することができる。
- 2 自立に向けた居住環境の整備についての視点から、介護を考え実践することができる。
- 3 自立に向けた入浴・清潔保持の介護について考え実践することができる。
- 4 個々の状況に応じた自立に向けた移乗と移動の技術を習得し実践することができる。
- 5 介護者と利用者の安全に配慮した移乗と移動の技術を実践することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1.2	生活の理解：生活と生存の違い—QOL向上を目指した介護技術とは	演習	近藤 トシコ
3・4	生活の理解—生活支援における介護者の倫理と姿勢	演習	近藤 トシコ
5・6	個々の状況に応じた介護を考える—安全な住環境とは	演習	近藤 トシコ
7・8	個々の状況に応じた介護を考える—安全な住環境とは	演習	近藤 トシコ
9・10	個々の状況に応じた介護を考える—施設ケアにおける介護の実際	演習	近藤 トシコ
11・12	個々の状況に応じた介護を考える—施設ケアにおける介護の実際	演習	近藤 トシコ
13・14	入浴の意義と目的及び利用者へのアセスメント	演習	近藤 トシコ
15・16	自立に向けた入浴の介護—家庭の浴室での入浴	演習	近藤 トシコ
17・18	自立に向けた入浴の介護—特殊浴槽での入浴	演習	近藤 トシコ
19・20	自立に向けた入浴の介護—シャワー浴、ベッド上での洗髪	演習	近藤 トシコ
21・22	自立に向けた清潔の介護—清拭、陰部の洗浄	演習	近藤 トシコ
23・24	個々の状況に合わせた移動と移乗の技術—生活領域の拡大を目指して	演習	近藤 トシコ
25・26	個々の状況に合わせた移動と移乗の技術—生活領域の拡大を目指して	演習	近藤 トシコ
27・28	個々の状況に合わせた移動と移乗の技術—介護者の健康を守る介護技術	演習	近藤 トシコ
29・30	まとめ	演習	近藤 トシコ

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

実技試験、レポート、授業態度で評価する。

履修上の留意点

実技が中心の授業になるので、動きやすい服装と上履きが必要。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。